



# アスンシオン通信

シーズン2

日付: 2025 年 7月31日 no.32

発行者: 田邊紘起

Hola a todos ! Que tal? Como están?

いよいよ夏休みに入りましたね。今年の夏はとても暑くて、外にいと熱中症など危ないことがたくさんありそうなので、体調に十分気を付けて、健康安全に楽しく過ごせるよう心がけてください。

さて今回は、パラグアイの伝統的なお祭りについてお伝えします。

## パラグアイの伝統的なお祭り「サンファン」

先日、大きなお祭りがあったので見に行きました。それは「サンファン」という、元々はスペインのお祭りで、それを南米に移住したスペイン出身の人たちが南米っぽく進化させたお祭りです。

パラグアイでは、サンファンのお祭りの時には昔ながらの伝統的な食べ物を食べ、みんなで伝統的なダンスを踊って盛り上がります。伝統的な食べ物というのは、前に紹介したエンパナーダの他に、お肉の串焼きやベジュというチーズやマンディオカの粉を混ぜてフライパンで焼いた少し厚みのあるピザ生地みたいな食べ物などです。ベジュは、注文してからフライパンで焼いてくれる店もあり、出来立てはこんがり焼けたチーズの香ばしい香りとモチモチ食感でとてもおいしかったです。



写真左のピザの生地のようなものがベジュ (mbeju)。出来立てがおいしい。=mariscal前

## パラグアイのダンスがすごい！

お祭りのステージや路上では、次から次へとダンスを踊っています。「ダンサパラグアージャ」と呼ばれる伝統的なダンスです。女性はフリフリのドレス、男性は黒っぽい衣装に麦わら帽子をかぶり、明るいラテン音楽のリズムに合わせて踊ります。



カッコいい衣装のダンサーさんの見事なダンスに感動=mariscal前

中でも注目を浴びていたのは、ワインの瓶を頭にのせたまま踊るダンスです。もちろん瓶を落としたら割れてしまいますが、誰一人落とすことなく笑顔で踊っていました。初めは「頭にくっついてるんじゃないの?」と疑っていましたが、途中で瓶を手を持って踊っていたので、本当にのせているだけだったようです。ダンスの後半では、さらに細い瓶を頭にのせて踊り始めました。見ていてヒヤヒヤしますが、ダンサーはみな余裕の表情で踊っているのが驚きました。中には瓶を5本も積み上げて踊るすごいダンサーもいて、「どうしてあんなことができるの!?!」と驚きました。



花瓶やワインの瓶を頭にのせてバランスをとりながら踊る見事なダンス。=mariscal前

ダンサーたちの踊りが終わると、さらにもう一曲、次は見ている人たちを誘って、ダンサーと観客が一緒になって踊ります。ダンサーに手を差し伸べられた人は、みんな笑顔で快く受け入れ踊りの輪の中に入っていきます。誰一人断ることなく、みんな喜んでノリノリで踊ります。日本人なら

恥ずかしがったり、遠慮したりして踊らない人が多いような気がしますが、パラグアイの人々は自分たちが楽しむことに積極的です。なんでも楽しくやってしまう南米の人々の文化や習慣が素晴らしいと思いました。

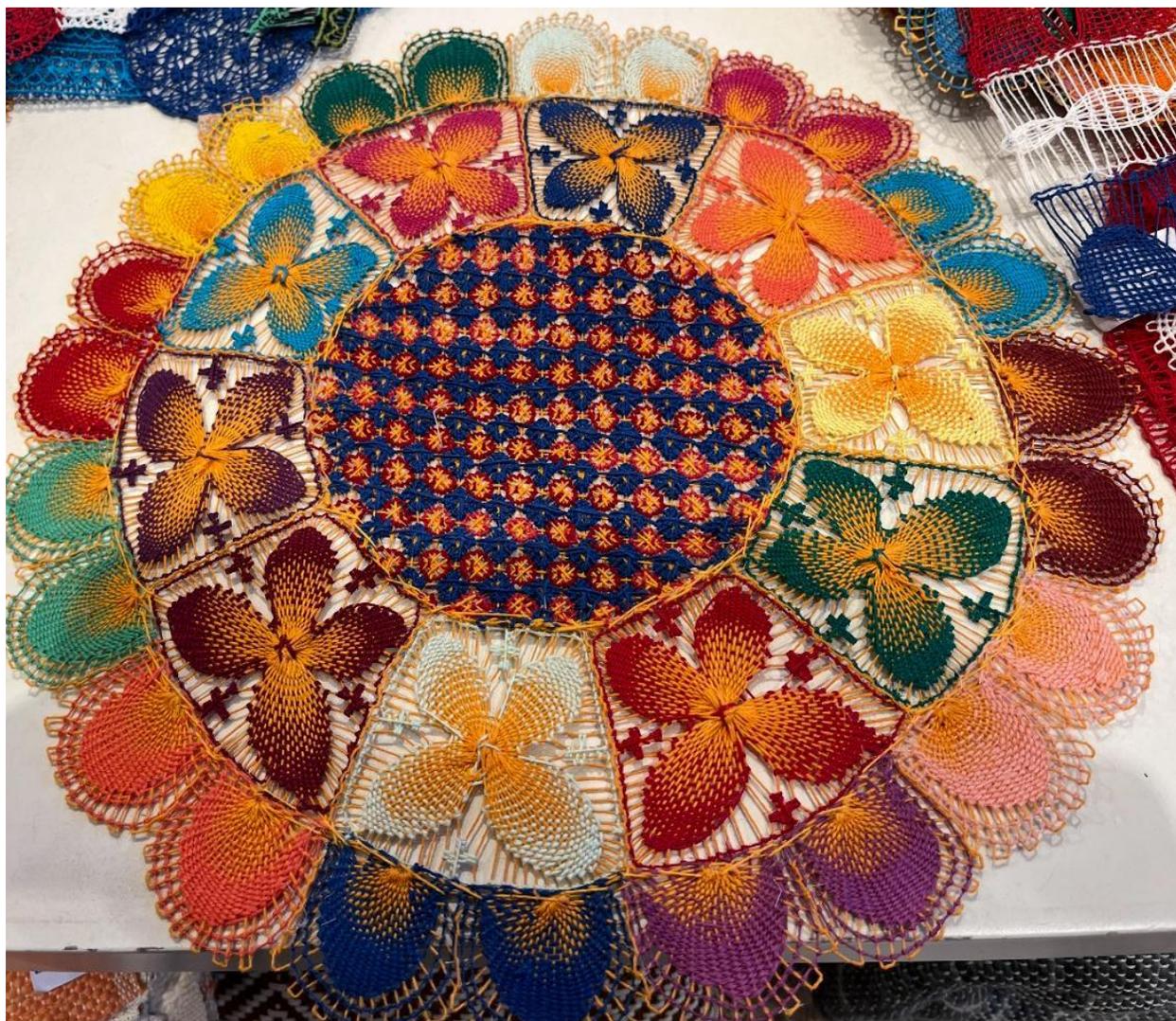
ダンスの最後は大歓声で終わりました。とても心温まるお祭りでした。



最終曲ではダンサーがお客さんを誘ってダンスを行う、最高の盛り上がり。=mariscal前

## とてもあざやかなニャンドゥーティ(ñ anduti)

パラグアイの伝統工芸品の一つに「ニャンドゥーティ」というものがあります。グアラニー語で「クモの巣」という意味で、その名の通りクモの巣のような見た目の手縫いの刺繍です。色はカラフルなものもあり、刺繍の細やかさは見ていてうっとりしてしまいます。手先が器用なパラグアイの人たちの手仕事に感動します。



色鮮やかなニャンドゥーティ。=over all

## タイトル写真について

通路の奥までずらりと続くスーパーマーケットの冷蔵庫。全ての肉がブロック(塊)で売られています。お肉専門店ではありません。これだけ多くのお肉を並べるなんて、さすがパラグアイ!! 写真に写っていない左側にも冷蔵庫があり、そちらにもずらっとお肉が並んでいました。

### スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

Como se llama? (コモ セ ジャマ): あなたのお名前は?

Me llamo Hiroki Tanabe. (メ ジャモ ヒロキ タナベ): 私の名前はタナベヒロキです。

相手の名前をたずねるときに使います。自己紹介で使うことで、相手の名前を知ることができます。パラグアイでは、親しい人の名前を呼ぶとき呼び捨てにします。日本では「〇〇さん」と言いますが、こちらでは年上の人に向けても呼び捨てにするので、「年上だけど…」と少し変な感じがします。しかし、親近感がわいて嬉しい感じもします。

## 次回について

今回は私が肌で感じたパラグアイと日本の違いについてお伝えします。

Chao chao! nos vemos!